



暮らしの発見

飲酒運転 罰則強化

道路交通法改正に伴い、飲酒運転に対する罰則が強化されました。

改正後の酒酔い運転に対する罰則は、現行の「二年以下の懲役または十年以下の罰金」から「三年以下の懲役または五十万円以下の罰金」へ大幅に引き上げられ、酒気帯び運転の罰則も現行の「三ヶ月以下の懲役または、五万円以下の罰金」から「一年以下の懲役または、三十万円以下の罰金」になります。

酒気帯び運転の規定も、現行の0.25ミリグラム以上(呼気1リットル当たり)から0.15ミリグラム以上(呼気1リットル当たり)へ改正されます。成人男性がビール大瓶1本を飲むと、おおよそ新規の数値を超えるそうです。

お正月・新年会等でお酒を飲む機会の多い時期です。飲んだら運転しないで下さいね。



長寿国 「ニホン」

日本では、昔から長寿に対してお祝いをする風習があります。もちろん、世界中で長寿のお祝いはあるのですが、日本程多くの長寿に関係したお祝い事をする国もめずらしいのです。日本は世界一の長寿国家です。これらのことば(賀寿と言ひ、長寿のお祝いのこと)は覚えておいて損はありません。

【還暦(かんれき)】

満六十歳の異名。満六十年目に生まれた年の干支に還ることから。

【古希(こき)】

七十歳の異名。杜甫(とほ)の詩「人生七十古来稀(まれ)なり」から。

【喜寿(きじゅ)】

七十七歳の異名。「喜の字の祝ひ」などという。「喜」の字の草書体が七十七に見えるところから。

【傘寿(さんじゅ)】

八十歳の異名。また、その祝ひのことば。「傘」を分解すると「八」と「十」になることから。

【半寿(はんじゅ)】

八十一歳の異名。「半」の字が「八十一」に分解できるところから。

【米寿(べいじゅ)】

八十八歳の異名。米の字を分解すると「八」と「十」と「八」になることから。

【卒寿(そつじゅ)】

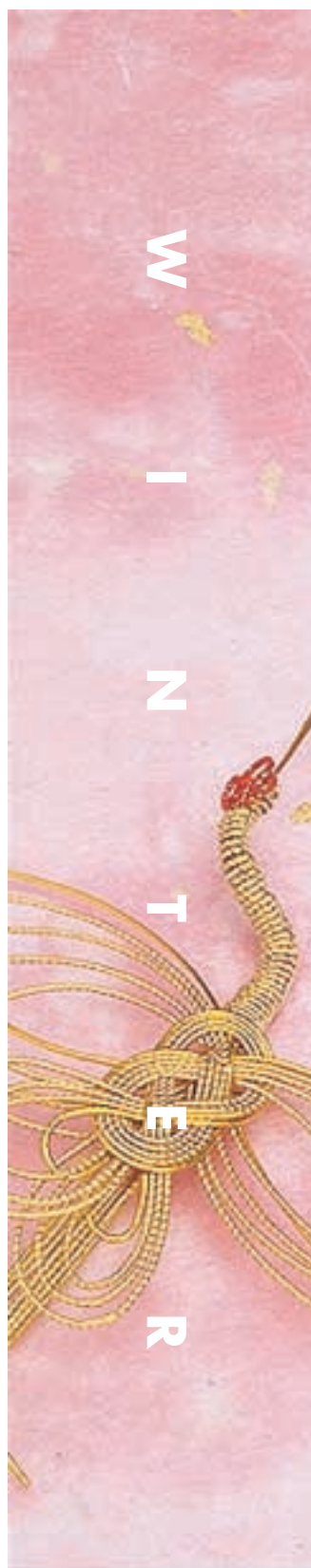
九十歳の異名。「卒」の略字で「卒」を分解すると九十になることから。

【白寿(はくじゅ)】

九十九歳の異名。百から一の字を除くと「白」の字になることから。

【大還暦(だいかんれき)】

百二十歳の異名。還暦を二度経験することから。



この日何の日?

小正月 「1月15日」

太陰太陽暦では満月より15日ほど早い朔の日をその月の初めとしていたので、地域によっては今も満月(もち=望)の日の正月ということから、小正月を「もちの正月」と読んでいる。

朔日の元旦を大正月、男正月、本正月というのに対し、望月の元旦は民間で生き残り、小正月、女正月、若正月とも呼ばれている。

小正月には、午前中に門松やしめ縄等の正月飾りや破魔矢・古札等はずして燃やします。(これを「どんと祭り」と呼ぶようになったのは戦後からです。)書き初めた紙を火の中に入れ、紙が高く舞い上がるほど字が上手になるともいわれています。



正月の神を送り、この火で焼いた餅やみかんを食べたり、小豆粥を神棚に供えて、その小豆粥をいただき、一年の健康を願う習慣があります。最近では、ぜんざいを作ることもあります。

「どんと祭り」は少子化、さらにはダイオキシン問題などで、廃れゆく他の伝統行事と同じ道をたどりつつあります。日本古来の伝統が消えゆくのは残念でなりません。「心の豊かさ」や「地域のつながり」を大切にしたいものですね。

